

ポーランド政治・経済・社会情勢

(2016年5月12日～2016年5月18日)

平成 28 年(2016 年)5 月 20 日

H E A D L I N E S

政治

シドゥウォ政権, 半年間の政権運営を総括
 憲法法廷を巡る与野党間協議
 ポーランド政府, クリントン元米国大統領の発言に反
 欧州委員会が憲法法廷問題につきプレス・リリースを発出
 米軍のミサイル基地建設開始式
 シドゥウォ首相のバチカン訪問
 ヴァシチコフスキ外相のタリン訪問
 劉海星中国外交副部長のポーランド訪問
 ロシア機が再び米軍機を妨害
 汚職防止機関間の協力協定への署名
 ブリアント・ジャンプ演習開始
 ドウダ大統領のイタリア訪問

経済

230万人が児童手当を申請
 カジノ等規制法案・VAT徴収強化法案の検討
 4月の失業率が一桁台に復帰
 2016年第一四半期の GDP 成長率は3%
 ムーディーズ社がポーランドの長期見通しを引き下げ
 フィッチ社がポーランド経済成長を下方修正
 安川電機がポーランドに進出
 中古車登録が増加
 国有財産省, 2017年に解散か
 シヴィノウシチェLNG基地の商業稼働が近づく
 ポーランドの都市の多くの都市で大気汚染が深刻

大使館からのお知らせ

在外選挙に関するご案内
 伊勢志摩サミットに伴う警備強化に関する御協力をお願い
 パスポートダウンロード申請書のご案内
 海外に渡航・滞在される方の安全対策のためのお知らせ
 大使館広報文化センター開館時間
 文化行事・大使館関連行事

ポーランド日本国大使館
 ul.Szwolczerow 8, 00-464 Warszawa Tel:+48 22 696
 5000<http://www.pl.emb-japan.go.jp/index.j.htm>

【お願い】3か月以上滞在される場合、「在留届」を大使館に提出してください。大規模な事故・災害等が発生した場合、所在確認・救援の根拠となります！
 問合せ先大使館領事部 電話 22 696 5005 Fax 5006 各種証明書、在外投票、旅券、戸籍・国籍関係の届出についてもどうぞ。

政 治

内政

シドゥウォ政権、半年間の政権運営を総括【17日】

17日、政府は、閣議にて各省からの半年間の政権運営に関する報告を総括した。シドゥウォ首相は、我々の仕事は国民に奉仕することであり、政権運営の評価は国民が下す、我々は多くのことを実現したが、修正を必要とするものもある旨述べた。また、ヴァシチコフスキ外相は、半年間の外交の成果として、中・東欧地域の結束の強化、対米関係の改善、ロシアとの現実的な関係構築等を掲げたが、同時に、ポーランドの外交政策の修正にここまで国外から否定的な反応があるとは予想していなかった旨述べた。

憲法法廷を巡る与野党間協議【17日】

17日、与党「法と正義」(PiS)が提案した憲法法廷を巡る与野党間協議が行われ、PiSの他、農民党(PSL)及びコルヴィンが参加した。翌18日の協議開催を提案していた市民プラットフォーム(PO)及び「近代」等の野党は参加しなかった。カチンスキPiS党首は、協議後に、PiSが4月末に下院に提出した憲法法廷改正法案の作業が近く開始される見通しを示した。

ポーランド政府、クリントン元米国大統領の発言に反発【18日】

13日、クリントン元米国大統領は米ニュージャー

ジーでの集会にて、ポーランド及びハンガリーは民主主義に多くの問題があることを示しており、両国は「プーチン・スタイル」による政権運営を希求している旨述べた。これを受け、18日、シドゥウォ首相は、この種の発言は公正でないのみならず(ポーランドを)侮辱するものであり、同元大統領はこの発言につき我々に謝罪すべきである旨述べた。同日、ドゥダ大統領は、クリントン元米国大統領は夫人の選挙キャンペーンで感情が高まっていたのかもしれない、ポーランドの現実とは異なる情報が海外に溢れている旨述べた。

欧州委員会が憲法法廷問題につきプレス・リリースを发出【18日】

18日、欧州委員会は、23日までにポーランドにて憲法法廷問題の解決に向けた大きな進展がみられなければ、ティーマンス欧州委副委員長に「法の支配メカニズム」の下での意見書の採択権限を与える旨のプレス・リリースを发出した。これを受けて、同日、シマンスキ外務副大臣は、欧州委員会はポーランドに最後通告を行った訳ではない、我々はより多くの時間を必要としており、23日までに憲法法廷問題につき何らかの大きな進展を実現することは困難である、ポーランドはブリュッセルとの間で非常に友好的な対話を行っている旨述べた。

外交・安全保障

米軍のミサイル基地建設開始式【13日】

13日、ポーランド北部レジコヴォにおいて、弾道ミサイル防衛システム施設の建設開始式が行われ、ドゥダ大統領、マチュレヴィチ国防大臣、ヴァシチコフスキ外務大臣、ロバート米国防副長官、ルーマニア国防大臣の他、ポーランド軍高官、地元自治体首長等が参加した。

ドゥダ大統領は、ミサイル防衛システムという、NATOの施設が永続的に存在することによってポーランドの安全保障を強化できると述べた。また、ロバート国防副長官は、このミサイル防衛システムは、防勢的な装備であり、ロシアに向けられたものでも、同国の戦略的抑止力を低減させようとするものでもないとして述べた。

一方、プーチン露大統領は、これらの施設は米国の戦略的核戦力の一部が東欧に移動することを意味すると述べた。また、マリアザチョトバ露外務大臣報道官は、ロシアが攻撃するとしたらポーランドとルーマニアが最初の目標となるだろうと述べた。

なお、ルーマニアでは12日、デンパサル基地に配備した米軍ミサイルシステムが稼働開始した。

シドゥウォ首相のバチカン訪問【13日】

13日、シドゥウォ首相は、バチカンを訪れローマ法王と会談を行い、クラクフで開催される世界青年の日へのローマ法王の出席、家族の価値及び難民の受け入れ、平和と安全保障、シリア危機、ウクライナの人道問題の状況等について意見交換した。

ヴァシチコフスキ外相のタリン訪問【14日】

13日、ヴァシチコフスキ外相はエストニアのタリンを訪問し、国際会議に出席した他、イルヴェス大統領及びカリユランド外相と会談を行い、二国間関係、安全保障及びエネルギー分野での協力、難民危機及びEUの東方政策について意見交換した。

劉海星中国外交副部長のポーランド訪問【15日】

13日、カツペルチク外務次官は、ワルシャワ訪問中の劉海星中国外交副部長と会談をした。今回の会談は、第4回ポーランド・中国戦略対話の一部であり、習近平中国国家主席のポーランド訪問へ向けた準備である他、ポーランド・中国戦略パートナーシップ

の機能、中国・中欧協力(16+1)、ポーランドの「一帯一路」イニシアチブへの関与、ポーランド産品の中国市場へのアクセス等の経済関係、地方自治体間協力、科学、文化及び観光分野での二国間関係の発展、地域安全保障について協議された。

ロシア機が再び米軍機を妨害【15日】

15日、ポーランドテレビ放送によると、ロシアは、戦闘機Su-27は、バルト海海上のロシア領空の近傍を飛行中の米軍偵察機RC-135を妨害したと発表した。

汚職防止機関間の協力協定への署名【16日】

13日、ポーランド汚職対策庁(CBA)とウクライナ国家汚職対策局は協力協定に署名した。本件協力協定は、2014年に設立されたウクライナ国家汚職対策局が、汚職対策への取組にポーランドのアプローチを採用することを決定したため、ポーランドはウクライナが同種の協定に署名する初めての国となった。

た。

ブリアント・ジャンプ演習開始【17日】

17日、ブリアント・ジャンプ演習2016は、ビドゴシチ他、ポーランド国内各地で開始された。演習の目的は、高度即応統合任務部隊(VJTF)の緊急展開能力の検証であり、現在ローテーション担当のスペイン、イギリスの部隊を主体に、シュチェチンに駐屯する多国籍部隊、ビドゴシュツの兵力調整司令部(NFIU)等約1500人が参加している。期間は、17日から27日までの予定。

ドゥダ大統領のイタリア訪問【18日】

16～18日、イタリアを訪問したドゥダ大統領は、16日、レンツィ首相と会談を行い、難民危機、NATOワルシャワ首脳会合について意見交換し、また17日にはマッタレラ大統領と会談を行い、EUの将来、難民危機、ウクライナ情勢及びロシアとの関係について意見交換した。

経 済

経済政策

230万人が児童手当を申請【12日】

ラファルスカ・家族・労働・社会政策大臣は12日、すでに230万人以上が児童手当を申請したと発言した。この政策により、出生率を10年で現在の1.29から1.6に上げ、社会の競争力と人的資本への投資を強化し、若年者層の貧困を削減が目的とされている。

カジノ等規制法案・VAT徴収強化法案の検討【17日】

シャワマハ財務大臣は、カジノ等を規制する法案およびVATの徴収を強化する法案を近く提出予定と述べた。新政権の半年間の業績を検討する政府内会合で発言したものの。

マクロ経済動向・統計

4月の失業率が一桁台に復帰【12日】

家族・労働・社会政策省によれば、4月の失業率は9.6%と一桁台に復帰した。これは1992年以来の最低値であり、改善の要因は堅調な経済と季節労働の増加とされている。

2016年第一四半期のGDP成長率は3%【13日】

中央統計局(GUS)によれば、2016年第一四半期の経済成長率は3%であり、対前期比減少の理由として投資の減少の可能性があると分析している。

ムーディーズ社がポーランドの長期見通しを引き下げ【14日】

14日、ムーディーズ社はポーランドの政府債務格付け自体はA2/P-1に据え置いたものの、中期的

な格付け見通しを「安定的」から「ネガティブ」に引き下げた。その理由として、(1)年金受給年齢引き下げを含む新政権の政策による歳出増が見込まれること、(2)スイスフラン建て住宅ローン救済策の検討や、憲法裁判所を巡る政治的不安定要因が投資環境に与える影響、が挙げられている。他方、ソブリン格付けをA2に据え置いた理由については、GDP成長率に裏付けられた堅調な経済状況としている。

フィッチ社がポーランド経済成長を下方修正【18日】

18日、格付会社のフィッチは、ポーランドの2016年経済成長見通しを以前の3.6%から3.2%に下方修正。2017年と2018年には3.5%の成長、対GDP比財政赤字は2016年に2.8%、2017年に3.0%と予測している。

ポーランド産業動向

安川電機がポーランドに進出【13日】

ロボット等メカトロニクス製品大手の安川電機は、ヴロツワフ市内に販売・サービス拠点を開設した。13日に内外の関係者を集めた記念式典が行われ、冒頭松富大使より、同社のポーランド進出に対する祝辞を述べた。

中古車登録が増加【13日】

ポーランド自動車工業会(PZPM)によると、今年1月から4月までに登録された輸入中古車は295,200台、昨年に比べ16%の増加であるという。同様の傾向が続いた場合、1年間では90万台を超えるものと予測される。ただし、10年超の車の割合が63.

9%(2015年は55.6%)である一方で4年以下のものの割合は減っている。業界からは安全性等からこうした傾向への懸念の声もでている。

国有財産省、2017年に解散【17日】

ヤツキェヴィチ国有財産大臣は、今後3週間のうちに国有資産管理に関する新たな方針を打ち出すと述べ、関連の新規則が6月末に公表される。また、同省の解散については2016年中または2017年の始めには各種手続きを終えることを目指しており、政府系の機関もしくは企業形態への移行が検討されている。

エネルギー・環境

シヴィノウシチェLNG基地の商業稼働が近づく【17日】

Gaz System社のステンピエンCEOは、シヴィノウシチェLNG基地に関し、今年7月にはガスの配送が開始される見込みと述べた。同LNG基地は50億立米の容量でポーランド国内需要のおよそ3分の1をまかなうこととなる。また、同社の新長期計画においては、今後は75億～100億立米分を増設予定としている。

ポーランドの都市の多くの都市で大気汚染が深刻**【17日】**

世界保健機関(WHO)が103か国3,000都市における粒子状物質(PM10及びPM2.5)の濃度を比較したデータによると、大気汚染の進んだ都市のうち、EU内の上位10都市中ポーランドの7都市(Zywiec, Pszczyna, Rybnik, Wodzislaw Slaski, Opoczno, Sucha Beskidzka, Godow)が入っていると報じられている。また、EU内上位50都市で比較した場合、ポーランドからは33都市がその中に入っている。

大使館からのお知らせ

在外選挙に関するご案内

在ポーランド大使館より、在外選挙制度に関するご案内をします。在外選挙人名簿への登録手続きには一定期間を要しますところ、お早めにお手続き願います。

1. 公職選挙法の改正により、本年6月19日以降初めて行われる国政選挙から、投票に際しての選挙権年齢が「満18歳以上」に引き下げられます。
2. 海外からの投票には、あらかじめ国内最終住所地等の在外選挙人名簿に登録をし、在外選挙人証を取得しておく必要があります。
3. 本年夏には参議院選挙が予定されております。年齢満18歳以上(本年6月19日現在で満18歳となる方も含む)で在外選挙人証をお持ちでない方は、お早めに当館にて手続き願います。
4. 在外選挙人名簿の登録資格や申請に必要な書類等につきましては、当館ホームページ(http://www.pl.emb-japan.go.jp/konsulat/j_zaigai.html)をご覧ください。

伊勢志摩サミットに伴う警備強化に関する御協力をお願い

5月26日から27日までの間、伊勢志摩サミットが、また、4月10日から9月25日までの間、関連会合が日本各地で開催されるため、昨今の情勢を踏まえ、テロ等を未然に防止するため日本国内において警備諸対策が推進されています。これに伴い、首脳会議が開催される5月26日及び27日を含む5月16日から5月29日までの二週間を「特別警戒期間」に指定し、警備を一層強化すること致しますので、皆様方におかれましてはご

理解と御協力のほどよろしくお願い申し上げます。

パスポートダウンロード申請書のご案内

本年1月4日から、パスポートダウンロード申請が開始されています。日本国外でパスポート申請を行う方は、ご自宅などでこれらの申請書をダウンロードし、必要事項を入力・印刷することで、パスポートの申請書が作成できるようになります。詳しくは、下記リンク先をご覧ください。

http://www.mofa.go.jp/mofaj/ca/pss/page3_001509.html

海外に渡航・滞在される方の安全対策のためのお知らせ

当館ホームページにおきまして、テロ・感染症・麻薬犯罪等対策と「たびレジ」による緊急連絡先登録のお願い」を掲載しております。詳しくは下記リンク先をご覧ください。

<http://www2.anzen.mofa.go.jp/info/pcwideareaspecificinfo.asp?infocode=2015C361>

大使館広報文化センター開館時間

月曜日 9:00 - 19:00 火曜～金曜日 9:00 - 17:00

当センターでは、日本関連行事や各種展示のほか、マンガコーナーを含む書籍の閲覧、本・CD・DVD等の貸出しを行っています。

イベント情報：<https://www.facebook.com/JapanEmb.Poland>

問合せ先：在ポーランド日本大使館広報文化センター（電話：22-584-73 00，Eメール：

info-cul@wr.mofa.go.jp，住所：Al. Ujazdowskie 51, Warszawa）

文化行事・大使館関連行事

【予定】第4回日本祭り「Matsuri - Piknik z Kulturą Japońską」【6月4日(土)11時30分～19時】

ポーランド商工会、日本人会、日本大使館主催による第4回「日本祭り」がワルシャワのトルヴァルスポーツセンターで開催されます。和太鼓、舞踊、伝統音楽からポップまで様々なステージ演目、武道、着付け、書道、マンガ、生け花、けん玉等のワークショップ・展示など日本をまるごと体験できます。その他に、観光情報コーナーや企業展示、日本食の販売なども予定されています。入場無料。

開催場所：TORWAR(スポーツセンター)ul. Łazienkowska 6a, 00-449 Warszawa

詳細：<https://www.facebook.com/Matsuri2014/>

<http://www.pl.emb-japan.go.jp/matsuri.html>

【開催中】コシノジュンコ展【5月11日(水)～5月25日(水)】

在ポーランド日本大使館広報文化センターにて、デザイナーのコシノジュンコ氏によるファッション作品写真展が開催中です。入場無料。

開催場所：在ポーランド日本大使館広報文化センター（電話：22-584-73 00，Eメール：

info-cul@wr.mofa.go.jp，住所：Al. Ujazdowskie 51, Warszawa）

【開催中】日本人形展【3月20日(日)～6月26日(日)】

クラクフ市の日本美術技術博物館 Manggha にて、日本人形展が開催中です。

開催場所：マウオポルスカ県、クラクフ市、日本美術技術博物館、ul. M. Konopnickiej 26

詳細：<http://manggha.pl/>

【予定】ヴォイチェフ・キラール第4回モダンミュージックフェスティバルのファイナル・ガラコンサート【5月20日(金)】

ゴジュフ・ヴィエルコポルスキ市にて、ゴジュフ・フィルハーモニー主催による『ヴォイチェフ・キラール第4回モダンミュージックフェスティバル』のファイナル・ガラコンサートが開催されます。作曲家矢代秋雄による作品をピアニストの海老彰子氏が演奏する予定です。

開催場所：ルブスキエ県、ゴジュフ・ヴィエルコポルスキ市、ul. Dziewięciu Muz 10

詳細：<http://www.filharmoniaorzowska.pl/pl/calendar/event/2016-05-20/19:00>

【予定】第10回国際ポーランドソフトテニス選手権【5月22日(日)～24日(火)】

クシオンジェニツェ市にて、ポーランドソフトテニス協会主催による『第10回国際ポーランドソフトテニス選手権』が開催されます。

開催場所: マゾフシェ県, クシオンジェニツェ市, ul. Młodości 6

詳細: <http://www.softtennis-poland.pl>

【予定】駅伝競走 XLPL 【5月22日(日)】

ポズナン市にて、XLPL 基金主催による『駅伝競走』大会が開催されます。

開催場所: ヴィエルコポルスカ県, ポズナン市

詳細: <http://www.xplekiden.pl/>

【予定】第19回トシェンサチ市国際ギターミュージックフェスティバル【5月26日(金)～28日(日)】

トシェンサ市にて、トシェンサチ・ギター協会主催による『第19回トシェンサチ市国際ギターミュージックフェスティバル・コンクール』が開催されます。ギター五重奏団 TWINKLE, 国際新堀芸術学院の寺田和之氏及び吉田佳正氏によるコンサートが予定されています。

開催場所: 西ポモージェ県, トシェンサ市

詳細: <http://www.gitarowytrzesacz.pl/>

【予定】文豪 谷崎潤一郎 生誕130周年記念シンポジウム【6月9日(木)～10日(金)】

トルン市にて、ニコラウス・コペルニクス大学日本学科・ポーランド日本研究協会共催による『文豪 谷崎潤一郎 生誕130周年記念シンポジウム』が開催されます。谷崎潤一郎の作品に関する講演が予定されています。

開催場所: クヤヴィ=ポモージェ県, トルン市, Collegium Humanisticum, ul. Władysława Bojarskiego 1

詳細: http://www.home.umk.pl/~pjkj_umk/tanizaki.torun2016main.html

【予定】第17回ポーランドジュニア剣道選手権・第12回ポーランド青年剣道選手権・第2回ポーランド子供剣道選手権【6月11日(土)】

ビドゴシチ市にて、ビドゴシチ剣道・居合道・杖道協会主催による『第17回ポーランドジュニア剣道選手権・第12回ポーランド青年剣道選手権・第2回ポーランド子供剣道選手権』が開催されます。

開催場所: クヤヴィ=ポモージェ県, ビドゴシチ市, ul. Garbary 2

詳細: <http://www.kendo.bydgoszcz.pl/>

【予定】第4回ポーランド空手選手権大会「TATARIA CUP」【6月11日(土)】

ノバ・サジナ市にて、レジャイスク極真空手クラブ主催による『第4回ポーランド空手選手権大会「TATARIA CUP」』が開催されます。

開催場所: ポトカルパチェ県, ノバ・サジナ市, ul. Konopnickiej 2

詳細: <http://www.karate.lezajsk.pl/>

この資料は、ポーランドの政治・社会情勢を中心に、各種報道をとりまとめたものです。報道をベースにしておりますので、記載事項の信頼性については責任を負いかねます。記載事項は在ポーランド日本国大使館の見解を示すものではなく、特定の団体・個人の利益を代表するものではありません。

皆様からの情報提供をお待ちしています

大使館では、読者の皆様に幅広くポーランドの情報をお伝えするため、皆様からの情報をお待ちしています。社会・生活情報やおすすめのイベント、困ったことなど、皆様に伝えたいと思われる情報があれば、下記のアドレスまでご連絡ください。(営利目的など、内容によっては対応できかねる場合もありますのでご了承ください。)

【お問い合わせ・配信登録】

本資料は、ポーランドに関心のある方であれば誰でも受け取ることができます。「新たに配信を受けたい」、「送付先メールアドレスを変更したい」、「配信を停止したい」等の依頼につきましては、下記のアドレスまでご連絡ください。

大使館ウェブサイト(http://www.pl.emb-japan.go.jp/index_j.htm)も併せて御覧ください。

